

子育て支援・少子化対策（危機管理局まとめ）
～「結婚・出産・子育て」について～

ゴシック…係長以上の意見

明朝…20代、30代の意見

1 県民意識の問題

○「結婚・出産・子育て」は以前は当たり前だったが、今は、負（負担）の印象が強くなっているように感じる

⇒人口減少社会の将来像（どんな社会になるのか）が県民の間で共有されていない

⇒「どんな社会の姿を目指すのか」を県民で広く議論、コンセンサス作りが必要

⇒「人口減少を止めるべき」という結論なら、それを目指す気運づくりが必要

⇒「結婚・出産・子育て」を望まない人をその気にさせる方策

若）「適正な人口規模とは」どのくらいなのか

・結婚等を望まない人をその気にさせるのは相当難しい、望んでいる人に対する支援を優先した方が効率的で合理的

・周りに結婚等する雰囲気はまだない

・出産には適齢期があることを認識すべき

・自分は長男なので地元に戻り、結婚・子育てしているが、子どもには結婚・子育てしろとは言えない

・自分の時間が大事、結婚等に前向きになれない、今は個人が尊重される時代

2 子育ての問題

（1）教育費にお金がかかる

⇒県立大の授業料の無償化

例：大阪府立大、兵庫県立大では実施

（2）若い世代はお金をもっていない（可処分所得が減っている）

⇒賃金アップ

（3）子育てにはお金がかかる

⇒出産・子育て補助金の支給（例えば、出産時 500 万円、毎月 10 万円）

若）・どのタイミングでどのくらいお金がかかるのか、現実的・客観的なデータを示すべき、具体的なイメージを共有できれば自分事として考えやすい

・結婚はしたいが、出産や子育てに掛かるお金を見るととても考えられない

・不妊治療費助成の充実

・給食費など子育ての固定費を減らす

（4）子育て環境が十分整っていない

⇒夜間保育、病児保育の充実

⇒家事ロボット、家事・買物代行サービスの活用

（5）労働環境の改善が進んでいない

⇒テレワーク、フレックスタイム制の活用

⇒育休取得の際の職場、職員への配慮

若）・仕事の負担が大きく、今は結婚等は考えられない

・出産などで女性のキャリアが中断したときのサポート体制が必要

・男性職員の育児希望を忙しいという理由で上司が拒否したのを見た

・職場によって結婚・出産するのに制約があると感じる

(6) とにかく子育ては負担

- 若)・地域で子育てする、ロシアでは子供はおじいちゃん・おばあちゃんに育てられる、そうした例を参考にすべき
- ・国や社会が子どもを育ててもいいんじゃないか
 - ・子育ては親の協力がマスト

(7) どうやって結婚するのか分からない

- 若)・結婚等のノウハウが分からない、行政、教育機関で何とか教えてほしい
- ・出会いの場づくり

3 その他

(1) 「二地域居住」、移住の促進

- ・富山には都会にはない魅力がある、子育てにも向いた土地柄
- ・南海トラフ・首都直下地震を考慮すれば、防災上も有効

若)・富山が子育てしやすい環境であることを分かりやすく発信

- ・空き家バンクの取組み促進
- ・商業施設、教育環境など地域の魅力を高める
- ・市街地の活性化や交通網の充実により地域の魅力向上を

(2) 魅力的な企業・職場を作る

- ・都会にあるような「キラキラした職場」がなく、若い女性が富山に戻らない
- ・富山にはどんな会社があるか分からない、いい会社があるか分からない

若)・県外から転職する際、いい働き場が分からない、情報発信を

- ・同世代で魅力的な企業がないという話をよく聞く
- ・フリーランスが仕事をしやすい環境を作る、スタートアップ支援も大事
- ・キラキラした職場は都会に任せて、富山の企業は例えばワーク・ライフ・バランスがしっかりしているなどすみ分け（別の土俵で勝負）すべき
- ・IT系や半導体産業など企業誘致に力を入れるべき

(3) 女性のUターン促進

若)・都会で大学生活を4～6年送れば、都会に生活基盤ができる、その状態で富山に戻る熱量は生まれにくい

- ・就職の面接シートを書くとき、自分の歩みを振り返るよい機会になる、富山でのいい思い出をめぐらせるタイミング

(4) 富山での就職支援

若) 就活中の交通費が馬鹿にならない、支援してほしい

(5) 大学の誘致

若)・富山は大学が少ない、学部・学科単位で違う場所に分散している大学もあるので、そうした大学の誘致を検討してはどうか

(6) 人口減少しても生活の水準を確保できるような方策をとるべき

- ・ウーバーなどの企業を誘致し利便性の高い生活環境づくりを進める
- ・そのため、面白いサービスを実証実験できる場を提供

(7) 移民の受け入れを真剣に考えるべき

若)・反対、飛躍しすぎ、若い人は意外に外国人にアレルギーがある、移民受け入れは社会的に反感が大きいのでは

(8) 人口減少対策が失敗した時のことも考えておくべき

若) 中山間の無住集落は平地の未来の姿、そこではいつでも元に戻せるように通い

で旧家の手入れ、生活道路の草刈り、祭りなどをして、地域をつないでいる、とても参考になる

(9) **女性の意識改革が必要**

・キャリア、子育ての両立は難しい、いずれかを選択すべきでは
若)・女性活躍を言い過ぎ、女性は忙しくなるばかりで益々子育てが難しくなる、
男女間で機会を公平に与えることで足りるのでないか